



我が家のワンちゃん



家族になった日

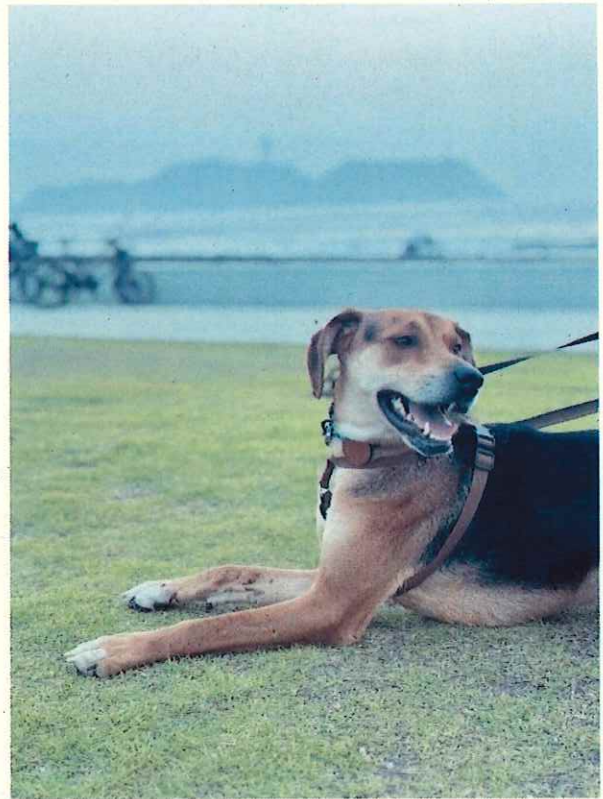
2025年6月25日



ワンちゃんの名前



センターでの名前 りゅう



ワンちゃんの近況など一言

りゅうくんがわが家の一員になって早1か月。

体はとっても大きいですが優しさもビッグサイズのイケメンです♡

りゅうくんをお迎えした初日、振り返ると食卓の上に何者かが見上げる高さでそびえ立っている！！その光景のあまりのインパクトに思わず笑ってしまいました。食への情熱がつよく、目を離れた際にキッチンのあらゆる調味料を見事に破壊&試食(七味まで！)してしまった時などはさすがに真っ青になりましたが、今ではダメだよと教えたエリアをりゅうくんなりに理解しガマンしてくれるまでになりました(人の食事中は少し離れたところから見ざる聞かざるを決め込んでくれるように・・・すごい成長！)。

今思えば初日の食卓事件も、りゅうくんにとってはただそこに台があり簡単に飛び乗れたというだけのこと。住居という空間で人との生活のすべてが「!?」の連続なことでしょう。

1か月経った今、りゅうくんの順応力は素晴らしい！の一言です。

また元猟犬(?)のりゅうくんは現在22kg。人間の大人を悠に超える身体能力とパワーの持ち主でもあり、特に跳躍などはオリンピック選手さながら。実際に高さ1m以上ある室内ゲージすら飛び越えてしまいます(!)一体どのように??と思い、隠れて状況を観察してみると、長い手足でのジャンプとよじ登りを駆使した圧巻のゲージ超えでした。ゲージ脱走願望は家族との接触を恋しがるキュウキュウ声から始まり、そのボルテージが上がりきると全身全霊のパワーをゲージ超えに注ぐといった様子。いつも家族のそばにいたい甘えん坊さんな面もあるの

だなと思うと、そのひたむきなジャンプすら愛おしくなります(それでも・・・少しずつお留守番も勉強していこうね！汗)。

私がリラックスしていると横から長い手でドンツとされるのは、りゅうくん的には「ねえねえ」の軽いトントンのつもりなのでしょう(笑)立ち上がって抱きついてくれる時も腹筋を油断していると、まあまあな衝撃です(キモチはうれしい)。忙しい夫もりゅうくんと散歩では全力ダッシュで満足させてくれたり、22kgの自分をヒョイと抱きあげてくれるからか、夫にはリスペクトのまなざしを注ぐりゅうくん。そして小学生の息子にはアニキ～♡という感じで慕っています。散歩では息子のペースに合わせることもでき、時々ふたりの動きがシンクロしていたりと、仲良くしてくれるのも微笑ましいです。「りゅうくんと毎日いっしょに過ごしてみて、どう？」と聞くと、ちょっと考えて「ぼくにはりゅうくんのすることぜんぶがいとおいしいよ」と息子。

そんなりゅうくんと生活が今あるのは保護されてからの毎日、センターの皆様が温かいケアや努力によって命をつないでくださったおかげです。実際センターではどの子も名前と呼ばれていて、どの職員さんに質問してもその子について教えてもらえたことが印象的でした。センターでの安心安全な環境はもちろん、言葉の端々から伝わってきた職員の方々の愛情や、命を守り抜くというミッションのようなもの、わが家なりにしっかりつないでいこうと思います。そして今この瞬間もセンターで待っている子たちみんなの幸せな未来を願っています。センターの皆様、りゅうくんとのご縁をありがとうございました！！(2025.7.22)



上記のホームページへの掲載 可・不可